

iPad を活用した活動報告書(魔法のじゅうたん)安来市立赤江小学校

1. 基本情報

(ア) 報告者氏名：井上賞子

(イ) 報告書記録日：平成 25 年 2 月 22 日

2. 対象児

(ア) 対象児

- ・A児⇒6年/12歳 書きの困難と、コミュニケーションの苦手さを持っている。
5年時から、ipadを使った介入を行ってきた。
今年度は、昨年度までの学習への手だてに加えて、iPadを「やりとり」のツールとしての活用を行った。
- ・B児⇒5年/11歳 読み・書きの困難を抱えている。
4年時からiPadを使った介入を行ってきた。
今年度は、前年度に行っていた「書き」への支援に加えて家庭学習の機会も活用しての「読み」を支える手だてを行った。

3. 活動目的

(ア) 当初の目的やねらい

○A児について

- ・思いを伝える手だてとして、自己表現の方法を広げていく。
- ・安心してやり取りができる中で、伝えたい思いや伝わるという見通しを支えていく。
- ・やりとりのマナーや楽しさに触れる機会を広げていく。

○B児について

- ・家庭学習の中に、学校で行っている有効な手だてを位置づけていく事で、自己解決の手だてとして定着させていく。
- ・家庭学習という日常の中に学びやすい手だてを取り入れていく事で、学習の定着をより確かなものにしていく。

(イ) 実施した期間：24年4月から25年2月まで

(ウ) その活動の実施者：井上賞子

(エ) 実施者と対象児との関係：担任

4. 活動内容と対象児の変化

A児について

(ア) 事前の状況

- ・理解は高いが表出に苦手さが大きい。
- ・自分の気持ちを伝える場面等では、固まってしまって言えない事が多く、希望や願いもなかなか伝えられない。
- ・やり取りが成立しにくく、一方的になりがち。
- ・下学年の子ども達との関わりを好む。

(イ) 具体的内容

○使用したアプリ



○カメラ+メール

- ・状況を写真に撮り、簡単なコメントをつけて送る事で、役割を果たす体験につなげる。
- ・送ったものを受けてもらったり、反応を返してもらう事で、やり取りの楽しさを感じる機会にする。



○交換日記

- ・相手の反応を待ってこちらからの反応を返すというルールを体感する。
- ・自分の思いを伝える場として活用する。
- ・「聞いてもらえる」「受け取ってもらえる」という安心感につなげていく。

○使用場面

- ・校外学習時⇒メール・カメラアプリ
- ・日々のやりとり⇒交換日記アプリ

○具体的な使用状況

☆児童交流での取り組み

- ・40年続いている、赤江小独自の行事。
- ・大阪の学校の子と「交流相手」になり、手紙をやり取りしてから、春の交流で大阪に1泊2日、夏の交流で安来に1泊2日して交流する。

- ・初めての場所、初めての相手と不安が大きいですが、役割を持つことで見通しを持って参加させたい。
- ・写真を活用して活動を振り返り、イメージを持って思いを整理させたい。

・ポイントを決めて写真を撮り、簡単な文章を添えて職員室にメールで報告する仕事を担当。



iPadから送信



iPadから送信

職員室の掲示板

しおりの行程表

クラブ
 集金日
 事務所長訪問 9:45~10:15
 フッ素洗口

児童交流 定時連絡
 5/25(金) 9:45後
 ・予定通り
 西宮小
 → 白鳥小
 .. 16:25
 ・予定より30分
 全員無事、これ
 出発です。

① 音楽
 春の児

Aさんからのメ
 ールと写真

来学
 人同
 サボ担当者研修会(出張)井上

① 握力
 学校司書



児童交流 報告 4
 対面式をしました。
 お弁当も食べました。
 みんな元気です。
 遠藤佑夏です。

- ・ しおりで「メールをする」場所や時間を確認しながら過ごす姿が見られた。
- ・ 返信をもらい、とても喜んで他の子にも知らせていた。
- ・ 学校に帰った時、たくさんの先生から報告のお礼を言われ、うれしそうだった。
- ・ 児童交流で行った取り組みを、日常の中で生かす機会になかなか広げられなかった。
- ・ 随時写真を取って記録した事や学校との連絡を行ったことは、それぞれ良い面があったが、携帯電話やデジカメでも十分可能だったと感じた。

- ・ 児童交流のメール報告をして以来、色々なアプリから担任にメッセージを送ってくるようになった。
- ・ 一日に10通以上送ってくることもあった。

- ・ 発信したいという思いは、大切にしたい。
- ・ メールもコミュニケーション、相手との「やりとり」なのだということを伝えたい。
- ・ 反応を待つこと、受け止めあって返信することを伝えたい。

☆「交換日記」を使った取り組み



- ・ 交換日記を作成。
- ・ 相手が返事を書いて送ると、自分のテーブルの上に届く。
- ・ 日記が回ってきていないときは、返事が書けない。
- ・ ページがつんだ日記は、本棚に入り、読み返すことができる。

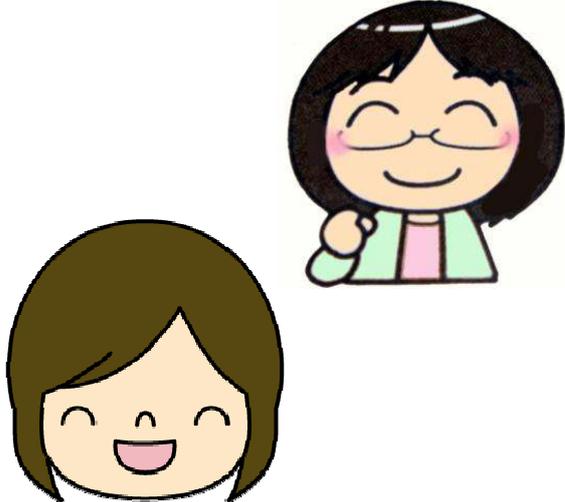
閲覧ややり取りの回数でポイントがたまり、アイテムをゲットして模様替えができる



・ 写真も送れる。



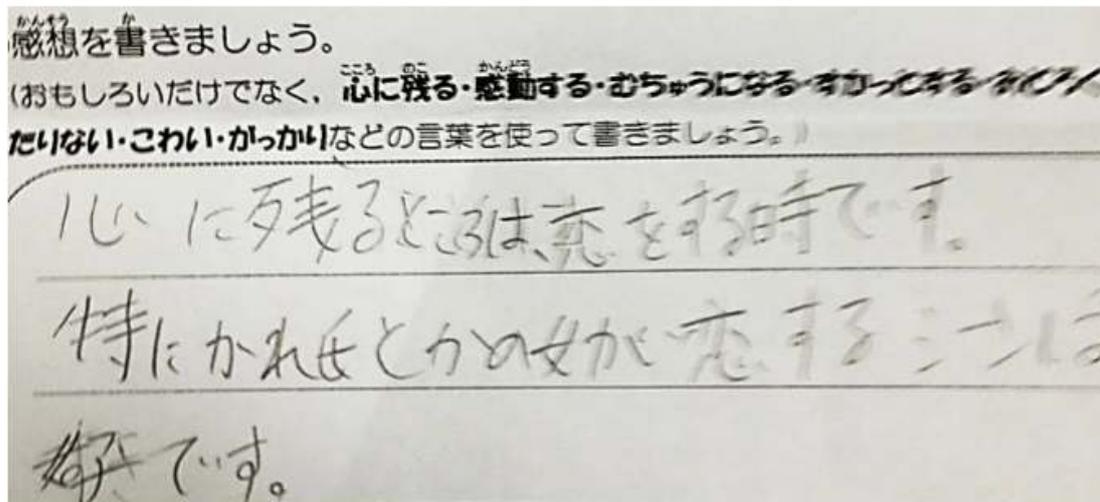
・ 6/6 にスタート。
 ・ 2/22 現在、日記は 9 冊目。



(ウ) 事後の変化

- ・ 発信が、増えてきた。周囲に声をかけたり、担任に「こんなことがあった」と話すことが増えた。
- ・ 日常の場面の中で「ありがとうございます」や「こうしてほしいです」といった言葉が、促されなくても、とっさにスムーズに出てくるようになってきている。
- ・ 低学年に「チャイムが鳴ったよ」と促したり、大人とのやり取りの中で「困りましたね～」とおどけるような姿が出てきた。
- ・ 交換日記で話題にした事の声をかけると、とても嬉しそうな様子になる。
- ・ 週末に書いている日記にも、出来事だけでなく気持ちを書けるようになってきている。
- ・ 交換日記という形を取った事で、「返事を待つ」ということが、できるようになった。
- ・ 気持ちや考えをたくさん伝えてくれる場になっている。
- ・ 「応えてくれる」「伝わっている」という事実の積み重ねが、信頼や共感につながっている気がする。(担任して6年、初めて「井上先生だいすき」と言って(書いて)くれた。6/20,7/11)
- ・ 「伝わる」という実感が「伝えたい」という思いになってきていることを感じる。
- ・ 交換日記の中の変化だけにとどまらない、広がりや、担任だけでなく関わる大人や友人が感じてる。
- ・ A 児からの発信が少なかったこともあり、今まで把握できていなかった彼女の興味関心の対象を共有できたことで、日常の話題が広がった。

交流学級でもらった「家読み」の取り組みへの感想「読んだ本」は「りぼん」 10月



これまでの6年間、こうしたものを家庭で書いてくる事は全くなかった。感想にも思いが出ていて驚いた。

※周囲が感じているA児の変化

○交流級の担任より

- ・集団の中で動けなくなるような場面がほとんどなくなった。
- ・以前は個別に声をかけてもなかなか反応が返らないことが多かったが、この頃はただうなづくとかだけでなく、言葉でどうしてほしいと伝えてきたり困っていることを話せている。
- ・グループ学習の場面でも、意見をたくさんいうわけではないが、意思表示ができるようになってきた。

○交流級の友達より(「Aさん、6-2でどんな感じ?」と聞いた)

- ・6年間一緒のクラスだったけど、このごろやっと「慣れてくれたのかな」と思うことが増えました。
- ・なんか、馴染んできてます。

○校長先生より

- ・運動会の後、自分の姿を見て駆け寄ってきて「運動会、がんばったよ」とにこにこ笑顔で話しかけてくれた。
- ・今までは挨拶の言葉をこちらからかけると返してくれる程度だったので、驚いた。

○委員会の担当より

- ・委員会の話し合いで、自分のしたいことが言えるようになってきた。
- ・こちらからの働きかけへの反応が、以前よりずっといい。

☆やりとりの広がりを意図して「A先生」の取り組み

- ・6年生になり、様々な場面で成長が見られるA児のやりとりの力をもっと広げていきたい。
- ・「役割を果たす」「誰かのためにがんばる」といった活動を、教科学習の中でも体験させていきたい。

- ・週に一度の2年生と一緒に国語の時間の始めに実施。
- ・A児が先生役となり、漢字あてや読みのクイズに取り組んでいる。
- ・教材の準備もA児が行っている。

- ・2年生に教える場面を設定することで、やり取りを楽しむ体験を広げたい。
- ・得意な漢字を使って「教える」という体験をすることで、高学年としての自信につなげたい。

○使用したアプリ



OKesiKesi

- ・簡単にスクラッチカードが作れるアプリ。
- ・漢字あてクイズで使用。



Oi 暗記

- ・単語帳の作れるアプリ。
- ・読みクイズで使用。

○使用した場面

- ・週に1回程度、国語の時間の最初の活動として取り組んだ。

○具体的な使用状況

問題を作る(漢字あて)



- 2年生が習った漢字のリストを見ながら、「間違いやすい漢字」を考えて、問題を決める。
- 形や読み方や意味から、ヒントを考える。

- スクラッチカードを作る。

会う
ヒント
屋根があります。
人と人が、関係あります。
かいとも読みます。

合う
ヒント
屋根があります。
物と物が関係あります。
こうとも読みます。



出題場面(漢字あて)



- スクラッチの一部をはがして提示しているところ。

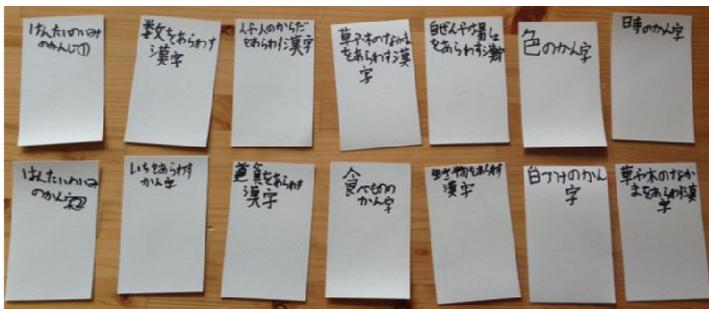
- メモ帳に書いておいたヒントを、黒板に書いたところ。



問題を作る(読み)



・市販のドリルの分類わけをお手本に、カードデッキを作る。



・2年生にひいてもらえるように、できたデッキの紙のカードを作る。

出題場面(読み)



カードをひいてもらって、挑戦するデッキを決定

わからない時は、ヒントを出します。



あと2枚だよ!
がんばって!



○事後の変化

- ・「A先生」と呼ばれることをとても喜んで、意欲的に取り組んだ。
- ・わからないことがあると、自分で大辞林や筆順辞典を使って調べるなど、既習事項を活用する姿も見られた。
- ・「この漢字は似てるから間違いやすいよ」「この読み方は2年生はまだわからないかも」など、相手を意識して準備に取り組むことができていた。
- ・2年生が困っていたら、担任からの指示でなく、自分から黒板に走って行ってヒントを書き始めた。
- ・手を挙げた2年生に当てるときに順番を考えていたり、できた時には「すごいね」とほめるなど、場に応じた対応ができた。
- ・回を重ねるごとに「言われて」でなく、「自分で考えて」行動する姿が増えている。



全問正解の時は、
黒板に「100」と
書いてくれた。

B児について(ふではこの報告の一部と重複します)

(ア) 事前の状況

○読みにかかわる状況

- ・音読は苦手で、やりたがらない。
- ・ルビをふって読むが、なかなか定着しない。
- ・簡単な漢字でも、読めないものが多い。
- ・たどたどしく読むため、なかなか意味理解につながっていかない。

(イ) 具体的内容

☆「読み」の困難に対するアプローチ

○使用したアプリ



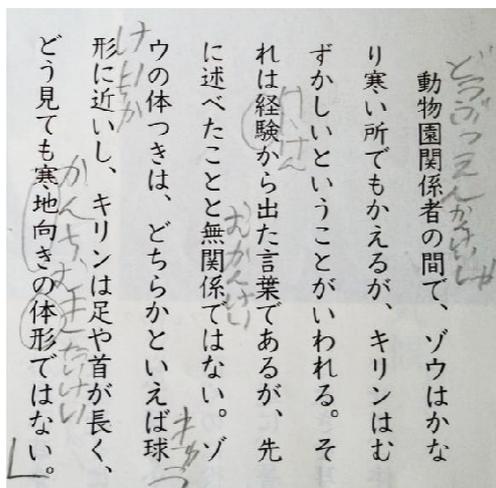
i 暗記

- ・単語帳が作成できるアプリ。
- ・出来上がったもので練習するだけでなく、入力すること自体も活用して読みの定着につなげる。

○使用場面

- ・国語の時間、新単元に入る前にデッキを作成。
- ・毎日の家庭学習の音読の前に、単語帳として練習。

5年からの取り組み



音読への広がり

☆Bさんの音読の状況

- 読めない漢字がとても多い。
- 「重い」「六つ」といった比較的優しい漢字も読めないものがある。
- 読めない漢字にはルビを自分でふっているが、読みにくい様子。

- 毎日、宿題で音読をするが、ぼそぼそと小さい声で何を言っているのかわからない。(家庭より)
- 毎日読んでいても、ルビを消すと読めない。
- 内容を聞かれても、首をひねることも多い。



- i暗記を使って、読めない熟語を全てカード化。
- 毎日の家庭学習での音読の前に、カード練習を行う。
- カード練習をクリアしてから、音読。
- 教科書にはルビを振らず、思い出せなかったときは聞く。

- ・新出漢字をドリルを見ながらカードにしていく
- ↓
- ・新しい単元を全文音読
- ↓
- ・読めなかった熟語をカードにしていく
- ↓
- ・家庭学習で、カード練習に取り組む。
- ↓
- ・カード練習後、その単元の音読に取り組む。



入力時

- ・ドリルや教科書を見ながら入力。
- ・入力するために、対象の熟語をなんと読むか「音」にして繰り返し想起する様子が見られた。

例) 「招く」というカードを作る際

- ・カードにする熟語を確認「招く」
- ↓
- ・なんと読むかを確認して、カードの表を入力「まねく」
- ↓
- ・出てきた候補の中から、熟語を探して選ぶ「招く」
- ↓
- ・カードの裏に読み方を確認しながら入力「まねく」

繰り返し

「音」を意識!!

※カードを作る際に、繰り返し「まねく」という熟語の読み方を確認し、さらに打ち込むことで、この作成段階でかなり覚えてしまう姿が見られた。

カード練習時

- ・ わかったカードは上へ、わからなかったカードは下へと振り分けていける。
- ・ 再挑戦する際は、わからなかったカードだけが表示されるので、見通しが持ちやすく、繰り返す意欲にもつながっている様子だった。



(ウ) 事後の変化：

- ・ 以前は、漢字練習をしても、今練習した漢字の読みを今答えられなかった。
- ・ 担任が作った漢字カードを練習に使っていたこともあるが、「答えを見て確認していい」というルールでくり返していても、なかなか定着していかなかった。
- ・ それが、ドリル作成の段階で何度も漢字と読みを見比べて確認することで、まず練習してすぐのものが答えられるようになっている。
- ・ また、iPad を持ち帰って、家庭でも宿題として読みの練習をすることで、以前なら考えられなかったような漢字を読める場面も増えている。
- ・ 単元に入る前に新出漢字をこの方法で学習しておくことで、音読もスムーズになってきている。
- ・ 音読の際、もごもごと小声でごまかす事がなくなった。
- ・ 休憩時間に、漫画や図鑑やことわざなどの本を読む姿を見かけるようになった。
- ・ 漢字が読めるようになって、音読の流暢性が驚くほどあがっている。また、それに伴って、意味理解もスムーズになって来た。
- ・ 新しい単元に入る一週間前程度からこうした取り組みを繰り返しておく事で、学習がスタートした時には、5年生の教科書がほぼすらすらと読める状態になっている。
- ・ 「漢字が読める」状態での音読の様子から、B 児の音読や意味理解の際に見られた課題の多くは、「漢字が読めない」ことから来ていたことがわかった。漢字が読めることで、その先の学習が、とてもスムーズになってきている。
- ・ 2 学期から単元に入る前の漢字の事前学習を支援学級で行った上で、国語は交流学級で行っているが、特に個別の配慮がなくても、問題なく参加できている。

5. 報告者の気づきとエビデンス

(ア) 報告者の気づき

○A 児、B 児それぞれへの活用の中で

A児にとっては眼鏡の役割

- A児の姿には大きな変化が見られているが、iPadという手だてがあって、思いの共有ができてきている中での姿という部分大きい。
- 全てをA児が1人でできるようになる事を目指すというより、iPadを使ったコミュニケーションも、彼女の表現の方法として活用していく事が有効だと感じている。

外部の手段を持つ事で、
自分の生きやすさが広がった

B児にとっては補助輪の役割

- B児はiPadを使った学習の効果が、導入した昨年度から特に顕著に見られた児童だった。
- 適した学習方法を得た事で、この2年間で、適応の状態・学習状況共に大きく改善され、現在はほとんどの授業を交流学級の集団の中で受けており、来年度から通常学級へ籍を戻す事が決定している。

学びやすさを得た事で、出せてい
なかった力をのばしていくことができた

○端末の選択について

3Gなのかwifiなのか携帯なのか

・A 児の児童交流の実践は、移動しながらということもあり、3G であることが必要だった。一方で、携帯電話でも可能だったと思う。彼女の将来的な手だてとしても、こうしたものは携帯の方が選択肢が広がると感じた。

・A 児の交換日記の実践は、彼女の伝え合うことへの意欲付けにとっても有効だったが、「家庭」・「担任」という構図だったので、wifi 環境があれば大丈夫だった。

・B 児の家庭学習での活用は、ネットの回線が繋がっていなくてもできるものだった。

○家庭に持ち出せるという良さ→有効に活用できた

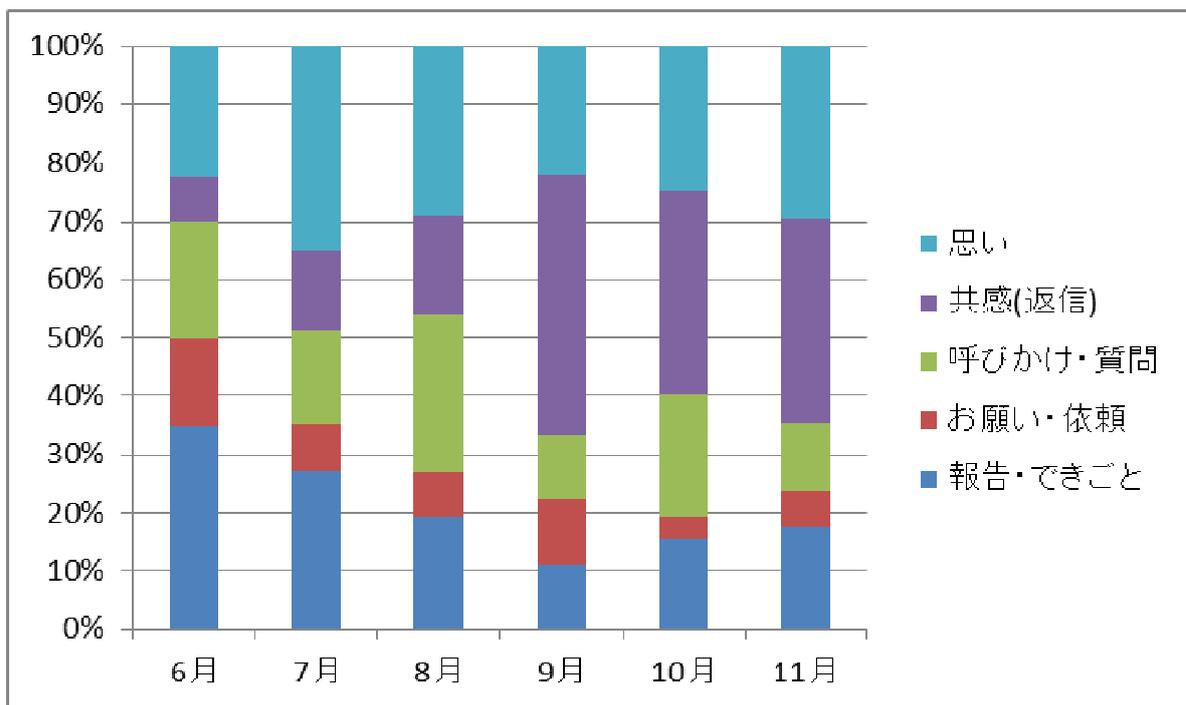
○どこでもインターネットにつなげるという良さ

→今回の取り組みの中では、十分に活用できなかった

(イ) 気づきに関するエビデンス

A 児のケース

○A 児からの返信内容の変化（重複あり）



・最初のころは、自分の言いたいことを一方的に伝えてくるが多かった。こちらからの問いかけや呼びかけに反応せず、話題が繋がらないこともよくあった。

・だんだんと「質問」「お願い」といった内容が増えていき、その返信に「ありがとうございます」「わかりました」といった反応が返るようになった。

・長期休業中の頻繁なやり取りのころから、こちらからの問いかけにまず共感(返信)してから話題に移るようになってきており、やりとりがスムーズになってきた。

2012/07/02 09:50

カーフパンダを見ました。
おもしろかったです。
水木しげるロードは、楽しかったです。
ありがとうございます。
お手紙を書きましょう

2012/07/02 17:20

そうだね。
心をこめて、書こうね。
きっと麻祐希さん、喜んでくれるよ。

2012/07/03 07:27

水泳は、入れません。
まだ血が出るからです。

上のA児の日記を
受けて、返信し
ているのに

全く反応しない

・特に自分にとってあまり聞きたくない話のときは、全く無反応なこともあった(日常でもその傾向は強い)が、こちらからの「きちんと考えて返事がほしい」という呼びかけに、返信することができるようになってきている。

2012/10/15 14:58

佑夏さんと、色々なお話ができるので、
交換日記は、とても楽しみです。

なので、ちゃんと約束を守ってね。
「さわらない」は、さわりません。

約束を守ってくれば、かしてあげられるからね。

約束を破って設定の入ったフォルダを何度も開け
ようとしていたことがわかってからのやりとり

2012/10/16 07:16

わかりました。

先生のお願ひも、わかりましたか？
前のお手紙を読み返して、お返事を下さいね。

2012/10/15 19:42

リボンの中で。
答え
1番目に、好きなアニメは、ひよ恋
2番目に、好きなアニメは、まりもの花
1番目に、嫌いなアニメは、絶叫学級
分かりましたか？

2012/10/17 10:45

佑夏さん、先生の質問にも、お返事を下さい。

15日の先生からのお手紙を読んで、
・約束を守ることについて、佑夏さんがどう思っているか。
・これからはどうするのか。
について、
佑夏さんの考えを教えてください。

大事なことです。
お願いします。

2012/10/17 10:09 佐

あの、10月21日に、Bjリーグハーフタイムイベントに、行きますか？
たんぼぼあすなろ食堂が、楽しみです。
車のゲームは、楽しみです。
おそばを、食べると、くちびるが、痺くなります。
アレルギーですよ。
あ、この前の、手紙で、トイブードルの、ぬいぐるみを、もらったよ
♪
かわいいです。
名前は、白です。
2歳です。
鳥根県では、雨が、降っています。
問題これは、何でしょうか。
④
ヒント
「われわれは、宇宙人だ」と言う
分かりましたか？

2012/10/18 19:44 井

ちゃんとお返事を書いてくれて、ありがとう。
「いけなかった」ことを振り返るのは、
勇気のいることです。
でもそれをちゃんと反省して、向き合うことが、
とても大事！
今回、佑夏さんがお返事をきちんと書いてくれて、嬉しいよ。
約束、まもってね。

2012/10/18 18:05

これからは、約束を守ります。
先生は、大変ですね。

- ・生理や中学生活への不安等、悩んでいる事を相談してくるようになった。
- ・自分の好きな物や興味のある物への思いを、よく書いてくるようになった。

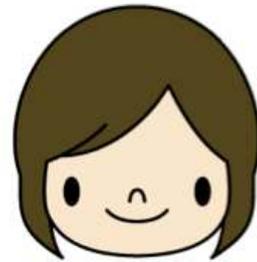
夏休み中に生理が始まった時のやりとり

<p>2012/07/22 06:50</p> <p>せいりが始まりました。 どうでしょう!?</p>		<p>2012/07/22 12:09</p> <p>おちついて。 大丈夫だよ。</p> <p>体が大人になってきているということです。 みんな、あることだからね。</p>
<p>2012/07/25 12:01</p> <p>ありがとうございます。 嬉しかったです♪</p>		<p>前の時と同じように、 ナプキンを上手にあてて、まめに交換するんだよ。</p>

中学校の、勉強を、頑張りたいと思います。
特に、数学とか、できるか、心配です。

仮面ライダーウィザードで、はるとの、両親が、交通事故で、亡く
たそうです。
寂しいです。
車に、乗ってましたが、交通事故で、亡くなったそうです。
ファントムと言う敵です
仮面ライダーウィザードは、魔法使いの仮面ライダーです。
井上先生は、ニュースとか、見ますか?
天気予報とか、していますよね。
炎、水、土、ハリケーン、ドラゴンフレムと言う魔法が、使えます。
スマイルプリキュアは、好きです。

オリンピックを見ましたか?
内山航平さんが金メダルをとりました。
かっこいいです♪



- ・担任への思いを伝えてくれる事がとても増えた。6年間担任しているが、この活動を行うまでは、聞いた事がなかった。(家庭で「悪口帳」をつけていて、叱られた日は担任への不満を書いていると保護者には聞いていた)
- ・「大好きです」「先生とはなれるのが寂しい」という肯定的なものだけでなく、「井上先生はおこると怖いので怒らせないようにします」といった本音も書いてくれるようになった。

井上先生は、大好き♪
つながっています。
瀬川先生は、かっこいいです。

井上先生は、かわいいです。

もうちょっと痩せて下さい。
今の体重は、46kgです。
井上先生は、なんkgですか。

井上先生のことを、忘れません。
井上先生も、忘れないでください。
瀬川先生へ
瀬川先生に、卒業するまで、一緒です。
忘れないでください。
優しい先生でした。
涙が、100ばいぐらいでそうです。

しばらく会えないですね。
寂しいです。

ゆめと、花を、読んでいるですね。
イイですね～
大好き～
先生は、優しく、怒ると、怖いですよ。
忍たま乱太郎を、見えていますか?



- ・「お疲れ様です」「お元気ですか」「明日会いましょう」「応援しています」といった呼びかける言葉が増えてきている。
- ・「嬉しかったです」「楽しかったです」くらいだった気持ちを表す言葉が、「会いたいです」「気分がイイです」「忘れません」「大好きです」など多様になってきた。「さびしいです」「ごめんなさい」「残念でした」というような言葉も出てきている。

今日は、プールに入ります。
 気持ちよくて、まるで、天国みたいです♪
 平泳ぎがちょっとできるようになりました。
 まだ、顔を出すのは、怖いです。
 でも、頑張ります。
 もし、出来なかったら、応援して下さい。
 お願いします。

頑張ってください。
 応援しています。

お元気ですか？
 私は、元気ですよ。

お疲れさまでした。
 今日の、ZIPを、見ましたか？
 ZIPPEIの送り会を、していました。
 ☹️ (泣いてしまいました。)
 井上先生は、泣きませんでしたか？
 問題

2012/10/10 18:28

そうですか？
 久しぶりに、会えますね。

☹️
 これは、なあに
 ①魔女
 ②魔法使い
 ③ドラキュラ
 ④透明人間
 ⑤ガイコツ
 怖いです。☹️
 井上先生は、怖くありませんか！？

今日、地区民体育大会が、ありました。
 途中で、中止に、なりました。
 総合リレーに、出たかったです。
 残念でした。

交換日記で出てきた「気持ちを表す言葉」は、付箋に書き上げておき、作文や詩を書く際、「どんな気持ちか」を考える時に選択肢として活用した。

B児のケース

○音読における熟語の読みの改善状況

☆「世界で一番やかましい音」の単元

・全文を音読し、最初に読めなかった熟語52個。

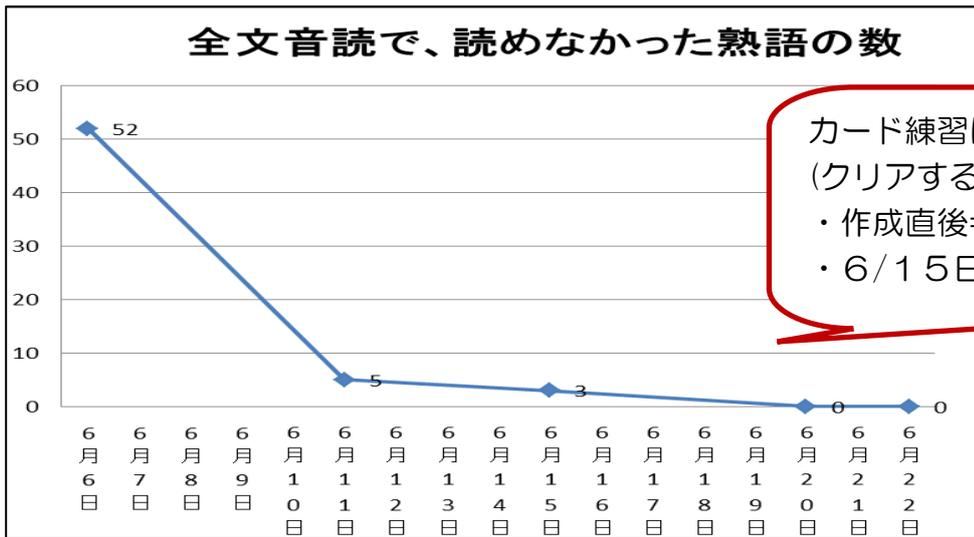
既習だが読めなかったもの

- ・都・開けば・集まる・歌・昼間・王子様
- ・六つ・大人・軍楽隊・不満・全員動員
- ・全部・戸・同時・何百万・何千万・実現
- ・最初・電報・伝書・間もなく・返事・正確
- ・何月・連中・悪気・近所・回りよう
- ・台なし・広場・集会場・注ぐ・極・以来・庭・指さす・気に入る・自まん
- ・歴史・時計・聞く・積む

新出漢字

電報・職場・賛成・現在・再開・耕す・志す・快い・群れる・歩む





カード練習にかかった時間
(クリアするまで)

- ・作成直後⇒6分程度
- ・6/15日以降⇒3～4分

- ・ 6/6に最初の音読をし、読めなかった52の熟語のカードを作成。
 - ☆毎日の宿題で「カード練習+音読」に取り組む。
 - ☆カード練習をした後、全文音読にルビなしで取り組んだ結果。
 - ・ 6/11 → 読めなかった熟語5つ。
 - ・ 6/15 → 読めなかった熟語3つ。
 - ・ 6/20 → 読めなかった熟語0。
 - ☆カード練習を行わずに全文音読
 - ・ 6/22 → 読めなかった熟語0。
- これまでは、単元の学習が終わった時点でも、ルビを消すと読めない熟語がかなりあったことを考えると、「カード作成の後、カード学習→音読を繰り返す」という手だては、B児にとって効果的であったと考えられる。

(ウ) 活動において特徴的なエピソード

A児について

- ・ A児とは6年間一緒に学習をしてきているが、自分の思いを表現することに困難が大きかった。1対1の指導場面でも、引き出すことはなかなか難しく、こちらから「これは?」「あれは?」と問うことが重なると、より頑なになる姿が見られた。iPadは、彼女にとって、学びを広げるだけでなく、思いを伝える上でも強力なツールになっていると感じている。
- ・ 担任からの返事が早くほしいとき、こちらを見ながら「交換日記、きてるかな」と言ってアプリを開く姿が見られた。「お返事が早くほしいことが書いてあるの?」と聞くと、満面の笑顔で「うん!」と答えていた。「じゃあ書こうかな」と書き始めると、「待ってるよ」と言って、iPadをにぎりしめていた。書いている様子をのぞくことはせず、「送信したよ」というと「やったー」と言ってアプリをあげ、「来てる。来てる」とはずんで開いていた。
- ・ 今までのやり取りを何度も何度も読み返しているようで、「このお話、前に交換日記でもしたよね」というと、「したよ。これこれ」とさっと出して見せてくれた。
- ・ 「こんなこと書いてるねえ」とにこにこしながら読み返している場面も見られた。
- ・ 国語の時間以外の場面でも、2年生から「A先生」と呼ばれると「何?」と駆

けつけて質問に答えたり漢字を教えたりする姿が見られた。

- ・今までは、参観日や他の先生が授業を見に来られる場面では、いつもできていることをしようとしなかったりとても不機嫌になることがよくあったが、A先生の活動については、だれが見ていてもあまり気にせずやりとりすることができていた。2月の参観日では、保護者の方にもその姿を見ていただいた。入学当初から、特に母親が見ていると投げやりな態度をとりがちだったが、とてもにこやかに2年生とやりとりをしていて、家庭から「家では見られないぐらい、楽しそうな表情で勉強していてびっくりしました。」という感想が寄せられている。
- ・担任がビデオをとっていることに気を取られていたら、「先生、次にいくよ」と促してくれることもあった。自信を持って取り組んでいることを、随所で感じた。

B児について

- ・読める漢字が増えてきたことで、「わからん」と最初から丸投げせず、思い出そうとしたり、とりあえず熟語の中の読める漢字を声に出して考えたりする姿が見られるようになった。
- ・間違ったり忘れていても、「〇〇だよ」と言うと「ああそうだった!!」ということが増えた。
- ・図鑑やマンガを手にする姿を見るようになった。(今までは、休み時間はプラレールかブロックをしていることが多かった)